

住友商事竹橋ビル

部門賞 既開発地の緑化部門

応募者によるプレゼンテーション

住友商事竹橋ビルは、2001年、晴海アイランドトリトンスクエアに移転するまで住友商事本社があった、住友商事ゆかりの地だ。皇居の緑に近接した首都高竹橋ジャンクションの三角地帯に位置する、この竹橋ビルが建築されたのは41年前の1970年。高密度な高速道路や建築物群に囲まれた立地環境に対し、近年、都市の環境問題として顕著化しているヒートアイランドに対応した環境対応が求められていた。この声に応える形で、竹橋ビルのリノベーション計画は2001年に開始され、さらに2009年には、特に「緑」による環境改善をテーマに、第2弾の大規模なリノベーション計画が実行された。ここでは、外堀通り側の、地下駐車場の屋上部分を、ダイナミックな緑化空間として確保。オフィスワーカーにとって快適な空間を「緑」から提供したいとの思いから、110種類以上の多様な植物を導入し、建築内外を緑でデザイン的に連携したシームレスなオフィス空間を実現した。皇居の森に連続する「豊かな緑」は、都心のクールスポットを拡大するとともに、広域的なエコロジカルネットワークの形成も意図している。都心において、豊かな自然と生き物に出会える街 - 住友商事竹橋ビルは、人と自然をつなぐインターフェイス空間として、ここ竹橋の地に再生した。

受賞者

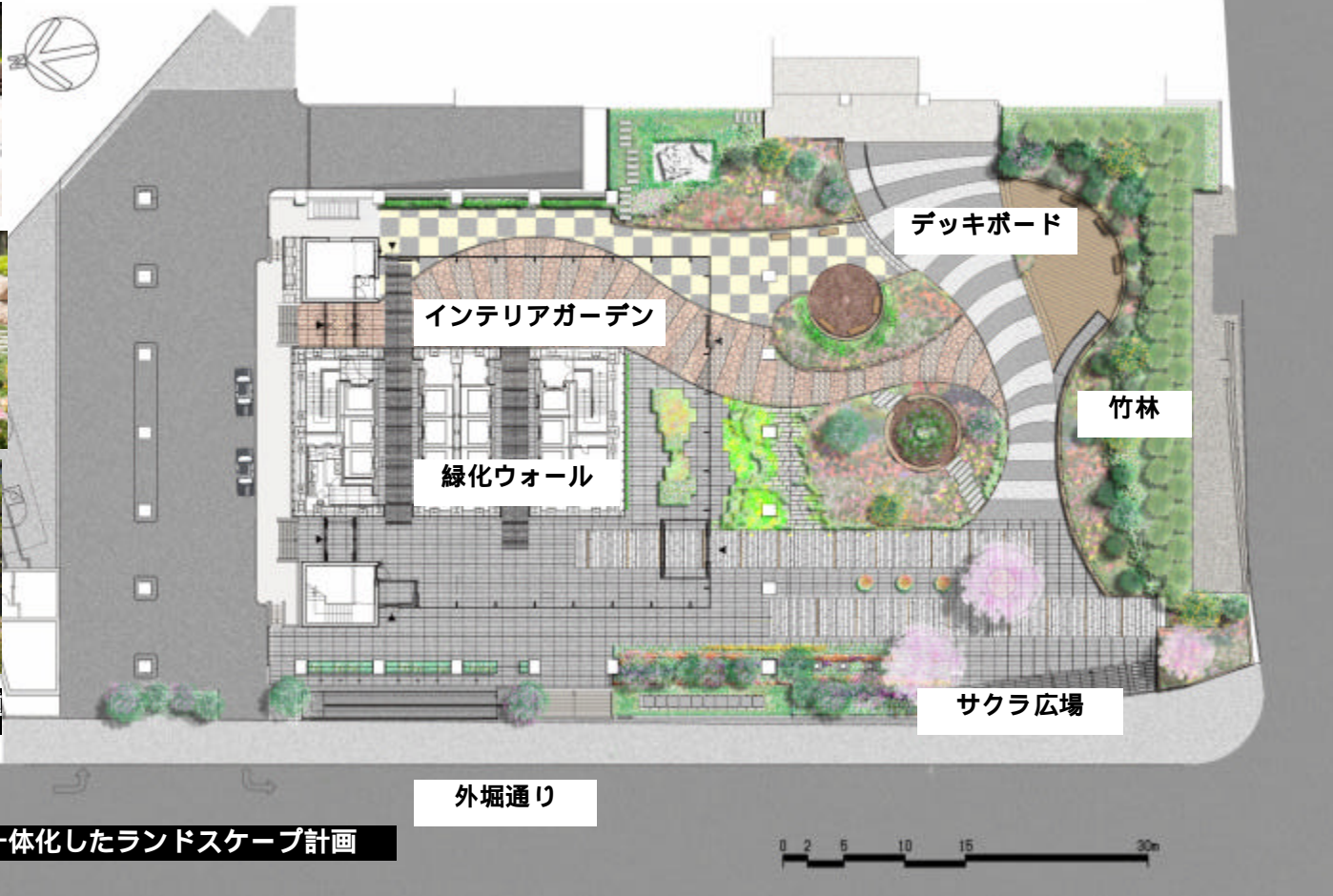
住友商事株式会社

株式会社日建設計

住友林業緑化株式会社

住友商事竹橋ビル 緑による リノベーション計画 5つのポイント

皇居の森に連続する「豊かな緑」で、都心のクールスポットを拡大。
外部空間から内部空間まで、一体化した緑のデザインを実現し、
オフィスワーカーにとって快適な空間を、「緑」から提案・提供。
110種類に及ぶ多様な樹種構成と、多様な景観の創出
隣接する豊かな皇居の緑と連携した、エコロジカルネットワークを意識
空虚で閉鎖的であった、駐車場屋上を、憩いの広場として地域に開放



120種類に及ぶ多様な樹種

内外一体化したランドスケープ計画

